

シラバス(授業内容)

科目名		ITコミュニケーション			クラス名	S2F	
1年単位		前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師		田中 みゆき					
		実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行います。			
目的及び概要		iPadのアプリの基本操作を学習して、活用方法を学びます。					
到達目標		iPadでプレゼン資料が作成できる Googleドキュメントとスプレッドシートの基本操作を身につける					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	Googleドキュメント		Googleドキュメント基本操作 文書の編集			
第2回	2	Googleドキュメント		Googleドキュメント 画像の挿入 チラシ作成			
第3回	3	Googleドキュメント		Googleドキュメント 作表			
第4回	4	Canva		Canva 基本操作 テンプレートを活用しよう			
第5回	5	Canva		Canva 図形の追加、調整			
第6回	6	Canva		Canva チラシ作成(課題)			
第7回	7	Canva		Canva チラシ作成(課題)			
第8回	8	Keynote		Keynote アニメーション、トランジションの設定			
第9回	9	Keynote		Keynote Canva連携			
第10回	10	Keynote		Keynote プレゼン作成(課題)			
第11回	11	Keynote		Keynote プレゼン作成(課題)			
第12回	12	Keynote		Keynote プレゼン作成 PowerPointに書き出し 動画作成			
第13回	13	Googleスプレッドシート		Googleスプレッドシート 文字の入力 編集 オートフィル			
第14回	14	Googleスプレッドシート		Googleスプレッドシート 作表			
第15回	15	Googleスプレッドシート		Googleスプレッドシート グラフ作成(課題)			
初回持ち物		iPad、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ITコミュニケーション		クラス名	S2F	
1年単位		前期	-	後期	1 単位	1年合計単位 1 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位 2 単位
担当講師		田中 みゆき				
		実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行います。		
目的及び概要		iPadのアプリの基本操作を学習して、活用方法を学びます。				
到達目標		Canvaテンプレートを利用してグラフィックを作成できる 目的を明確化したプレゼンを作成することができる				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		なし				
＜授業計画＞		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	Canva	Canva テンプレートを活用しよう			
第2回	2	Canva	Canva バナー作成に活用できる機能			
第3回	3	Canva	Canva バナー作成に活用できる機能			
第4回	4	Canva	Canva QRコードの作成、様々な形式でダウンロード			
第5回	5	Canva	Canva インスタ紙芝居の作成(課題)			
第6回	6	Canva	Canva インスタ紙芝居の作成(課題)			
第7回	7	Canva	Canva インスタ紙芝居の作成(課題)			
第8回	8	Keynote	プレゼンテーションの流れについて			
第9回	9	Keynote	Keynote 目的を明確化したプレゼン作成			
第10回	10	Keynote	Keynote 目的を明確化したプレゼン作成			
第11回	11	Keynote	Keynote PowerPointに書き出し 動画作成(課題)			
第12回	12	情報セキュリティと情報モラル	情報セキュリティの3要素、ネチケット、著作権			
第13回	13	期末試験対策	筆記試験対策			
第14回	14	期末試験	筆記試験			
第15回	15	テスト返却	期末試験の解説			
初回持ち物		iPad、筆記用具				
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験
		・定期試験や小テスト				実技試験
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名		イベントプロモーション			クラス名	S2F	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師		担任					
		実務経験	-	-			
目的及び概要		学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標		就職活動、社会人としての理解を深める (S2A:金6限／S2C:木1限／S2D:火1限／S2E:木4限／S2F:水1限)					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	クラスコミュニケーション		クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め/SAM選出			
第2回	2			マシュマロチャレンジ			
第3回	3	FUSに向けて		FUSについてアンケート(どのようなショーにしたいか)			
第4回	4			FUSについて内容			
第5回	5	スポーツ大会		スポーツ大会(実行委員決め/競技候補)			
第6回	6			競技について話し合い			
第7回	7			競技について話し合い			
第8回	8	クラスコミュニケーション		クラスコミュニケーション			
第9回	9			クラスコミュニケーション			
第10回	10	学園祭		学園祭について(出し物候補)			
第11回	11			学園祭について(役割決め/作成物)			
第12回	12			学園祭について(役割決め/作成物)			
第13回	13	期末試験について		夏休みの過ごし方/期末試験について/夏季休業中の登校について			
第14回	14	行事準備		学園祭/スポーツ大会			
第15回	15	アンケート／振り返り		学校生活アンケート/前期振り返り			
初回持ち物		iPad					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲			○	実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		イベントプロモーション			クラス名	S2F	
1年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師		担任					
		実務経験	-	-			
目的及び概要		学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標		就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
<授業計画>		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	目標・FUS		後期目標／リーダー・サブ決め／FUSについて動画視聴			
第2回	2	FUS		FUSについて			
第3回	3	学園祭		企画書作成 / 概要詳細決め			
第4回	4	学園祭		ルール説明			
第5回	5	学園祭／スポーツ大会		概要説明			
第6回	6	スポーツ大会		出場競技決め			
第7回	7	スポーツ大会		ルール説明			
第8回	8	FUS		演出について			
第9回	9	FUS		各クラステーマ・コンセプト決め			
第10回	10	FUS		個人コンセプトシート作成・提出			
第11回	11	FUS		ウォーキングレッシン			
第12回	12	FUS		ウォーキングレッシン			
第13回	13	FUS		ウォーキングレッシン			
第14回	14	FUS		ウォーキングレッシン			
第15回	15	アンケート		学園生活アンケート			
初回持ち物		iPad、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲			○	実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ネイル実習			クラス名	S2F	
1年単位		前期	3 単位	後期	6 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位		前期	6 単位	後期	2 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師		内山 美代志 ・ 大久保 香織					
		実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っている JNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要		ネイル技術の根幹となるネイルケアの基礎を身に付け、検定やサロンワークに対応できる応用力を身に付ける。					
到達目標		テーブルセッティングからカラーリングまでの工程と爪に関する専門的な知識を身に付け、各検定合格を目指す。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－6	JNEC2級検定対策		ネイリスト検定2級模擬試験			
第2回	7－12	JNAジェル検定中級対策		要項確認・テーブルセッティング・道具			
第3回	13－18			ジェルフレンチデモ			
第4回	19－24			ジェルデザインスカルプ・削り練習			
第5回	25－30	JNAフットケア理論検定		JNAフットケア理論検定			
第6回	31－36	JNAジェル検定中級対策		ジェルネイル検定中級模擬試験			
第7回	37－42			通し練習			
第8回	43－48			中級検定試験本番			
第9回	49－54	JNEC1級検定対策		アプリケーション1～3ボール・ピンチング練習			
第10回	55－60						
第11回	61－66			チップオーバーレイ練習			
第12回	67－72			1級総合練習・タイムトライアル			
第13回	73－78			期末試験			
第14回	79－84			1級総合練習・タイムトライアル			
第15回	85－90						
初回持ち物		テキスト、ハンド、筆記用具、1級検定道具一式					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ネイル実習			クラス名	S2F	
1年単位		前期	3 単位	後期	6 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位		前期	6 単位	後期	2 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師		担当講師					
		実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要		ネイル技術の根幹となるネイルケアの基礎を身に付け、検定やサロンワークに対応できる応用力を身に付ける。					
到達目標		テーブルセッティングからカラーリングまでの工程と爪に関する専門的な知識を身に付け、各検定合格を目指す。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1・2	総合トレーニング	1級試験に向けてのプレパレーションの見直し				
第2回	3・4						
第3回	5・6						
第4回	7・8	ネイルEXPOトレーニング	ファイリング、ケア、カラーリング（ナチュラルスキンカラー）				
第5回	9・10						
第6回	11・12						
第7回	13・14						
第8回	15・16	時短ケア	ネイルマシン理論				
第9回	17・28		サロンワークでの時短ケア				
第10回	29・20	赤ポリ選手権トレーニング	ネイルケア～カラーリング				
第11回	21・22						
第12回	23・24						
第13回	25・26		タイムトライアル				
第14回	27・28						
第15回	29・30	ネイル理論	爪の解剖学・病気とトラブル・化粧品学				
初回持ち物		1級県に使用する用具溶剤一式・検定試験合格基準・試験要項					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション（提出物）	
成績評価 基準（右記合計点）			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ネイル検定対策			クラス名	S2F	
1年単位		前期	-	後期	9 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位		前期	7 単位	後期	8 単位	2年合計単位	15 単位
担当講師		川添 ゆり香 ・ 大久保 香織					
		実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要		基本のネイルケア、カラーリングから応用となるジェルネイルデザイン、イクステンション、アクリルイクステンションの技術を身に着け、目標タイム内に仕上げられるよう学習します。					
到達目標		○公益財団法人日本ネイリスト検定センター(JNEC)2・1級 合格 ○NPO法人日本ネイリスト協会ジェルネイル技能検定中・上級 合格					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		JNAテクニカルシステムベーシック・ジェルネイル					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－7	JNEC2級検定対策		総合・通し練習			
第2回	8－14						
第3回	15－21	JNAジェル検定中級対策		ジェルグラデーション			
第4回	22－28			ジェルフレンチ			
第5回	29－35	JNAフットケア理論検定対策		フット概論			
第6回	36－42	JNAジェル検定中級対策		総合・通し練習			
第7回	43－49						
第8回	50－56						
第9回	49－63	JNEC1級検定対策		アプリケーション1～3ボール練習			
第10回	64－70						
第11回	71－77						
第12回	78－84			削り練習			
第13回	85－91			総合練習			
第14回	92－98			期末試験			
第15回	99－105			通し練習			
初回持ち物		筆記用具、ジェル検定中級で使用する道具一式					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ネイル検定対策			クラス名	S2F	
1年単位		前期	-	後期	9 単位	1年合計単位	9 単位
2年単位		前期	7 単位	後期	8 単位	2年合計単位	15 単位
担当講師		担当講師					
		実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要		・総合的な技術力と専門知識を身につけ、ネイリスト技能検定試験の最高位の資格取得を目指します ・検定試験の合格基準を理解し技術の向上をはかります					
到達目標		・日本ネイリスト検定試験センター 1級合格 ・日本ネイリスト協会 ジェルネイル技能検定試験 上級合格					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		JNAテクニカルシステムベーシック・ジェルネイル					
＜授業計画＞		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－8	JNEC1級対策	総合トレーニング(タイムトライアル) ウィークポイントの集中練習 試験要項・合格基準の確認				
第2回	9－16						
第3回	17－24						
第4回	23－32						
第5回	33－40	JNAジェル検定上級対策	試験要項・合格基準の角印				
第6回	41－48		ジェルイクステンション				
第7回	49－56		手順と時間配分を考える				
第8回	57－64		総合トレーニング(タイムトライアル) ウィークポイントの集中練習				
第9回	65－72						
第10回	73－80						
第11回	81－88		試験の見直し(アクリル・ジェル) 認定講師試験内容にチャレンジ (デザインスカルプ等)				
第12回	89－96						
第13回	87－104						
第14回	105－112						
第15回	113－120	総合トレーニング					
初回持ち物		1級県に使用する用具溶剤一式・検定試験合格基準・試験要項					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		イクステンション		クラス名	S2F	
1年単位		前期	-	後期	3 単位	1年合計単位 3 単位
2年単位		前期	3 単位	後期	6 単位	2年合計単位 9 単位
担当講師		吉橋 友菜 ・ 平光 真理				
		実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。		
目的及び概要		ネイル技術の中で最も難度の高いイクステンション技術を学ぶ。 爪の状態やお客様の要望に合わせて対応出来るように、様々な技術の特徴を理解しより良い技法を選び施術できるようにしましょう。				
到達目標		イクステンションの技術を習得し、資格取得を目標とする。 ○JNECネイリスト検定1級 ○JNAジェル検定中級				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		テクニカルシステムベーシック・JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～				
＜授業計画＞		前 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1－3	JNEC2級検定対策	ネイリスト検定2級模擬試験			
第2回	4－6	JNAジェル検定中級対策	要項確認・テーブルセッティング・道具			
第3回	7－9		ジェルフレンチデモ			
第4回	10－12		ジェルスカ削り練習			
第5回	13－15	JNEC1級検定対策	要項確認・テーブルセッティング・道具・アクリル理論			
第6回	16－18		アプリケーション1ボール練習			
第7回	19－21	JNAジェル検定中級対策	JNAジェル検定中級対策模擬試験			
第8回	22－24	JNEC1級検定対策	アプリケーション1～3ボール練習			
第9回	25－27					
第10回	28－30		ピンチング練習			
第11回	31－33		削り練習			
第12回	34－36		チップオーバーレイ練習			
第13回	37－39		総合練習			
第14回	40－42		期末試験			
第15回	43－45		通し練習			
初回持ち物		2級実技で必要なネイル道具一式(新品の在庫も含む)・iPad・ネイルノート				
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験
		・定期試験や小テスト			○	実技試験
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名		イクステンション		クラス名	S2F	
1年単位		前期	-	後期	3 単位	1年合計単位 3 単位
2年単位		前期	3 単位	後期	6 単位	2年合計単位 9 単位
担当講師		担当講師				
		実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。		
目的及び概要		アクリルスカルプチュア、ジェルイクステンションの習得				
到達目標		1級合格基準のアクリルスカルプチュア、上級合格基準のジェルイクステンションの習得				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書		なし				
＜授業計画＞		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1－6	アクリルスカルプチュア	1級内容アクリルスカルプチュア			
第2回	7－12	アクリルスカルプチュア	1級内容アクリルスカルプチュア			
第3回	13－18	アクリルスカルプチュア	1級内容アクリルスカルプチュア			
第4回	19－24	アクリルスカルプチュア	1級内容アクリルスカルプチュア			
第5回	25－30	アクリルスカルプチュア	サロンワークスタイルのアクリルスカルプチュア			
第6回	31－36	アクリルスカルプチュア	サロンワークスタイルのアクリルスカルプチュア			
第7回	37－42	ジェルイクステンション	サロンワークスタイルのアクリルスカルプチュア			
第8回	43－48	ジェルイクステンション	上級内容ジェルイクステンション			
第9回	49－54	ジェルイクステンション	上級内容ジェルイクステンション			
第10回	55－60	ジェルイクステンション	上級内容ジェルイクステンション			
第11回	61－66	ジェルイクステンション	上級内容ジェルイクステンション			
第12回	67－72	ジェルイクステンション	上級内容ジェルイクステンション			
第13回	73－78	サロンワーク講習	サロンワークでのトラブル爪に対するイクステンション			
第14回	79－84	サロンワーク講習	サロンワークでのトラブル爪に対するイクステンション			
第15回	85－90	サロンワーク講習	サロンワークでのトラブル爪に対するイクステンション			
初回持ち物		1級内容の道具全て				
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験
		・定期試験や小テスト			○	実技試験
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名		アート			クラス名	S2F	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師		吉橋 友菜 ・ 平光 真理					
		実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っているJNA認定講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要		様々なネイルアートの技法を学び、高度な作品表現をしていきます。 基礎から応用テクニックまでを習得し、サロン運営で求められる色の選択や最適なデザインの提案ができることを目標としています。					
到達目標		アートの技術を習得し、資格取得を目標とする ○JNECネイリスト検定1級(ミックスメディアアート) ○JNAジェル検定上級(ジェルデザインスカルプチュア)					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		テクニカルシステムベーシック・JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－3	JNEC2級検定対策	ネイリスト検定2級模擬試験				
第2回	4－6	JNAジェル検定中級対策	要項確認・テーブルセッティング・道具				
第3回	7－9		ジェルフレンチデモ				
第4回	10－12		ジェルデザインスカルプ・削り練習				
第5回	13－15	JNEC1級検定対策	要項確認・テーブルセッティング・道具・アクリル理論				
第6回	16－18		アプリケーション1ボール練習				
第7回	19－21	JNAジェル検定中級対策	JNAジェル検定中級対策模擬試験				
第8回	22－24	JNEC1級検定対策	アプリケーション1～3ボール練習				
第9回	25－27						
第10回	28－30		アクリルアート練習 3Dミックスメディアアート				
第11回	31－33						
第12回	34－36						
第13回	37－39		総合練習				
第14回	40－42		期末試験				
第15回	43－45		通し練習				
初回持ち物		2級実技で必要なネイル道具一式(新品の在庫も含む)・iPad・ネイルノート					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		アート			クラス名	S2F	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師		担当講師					
		実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要		検定合格を目指す試験内容アートや技法を身に付け、そこから発展させサロンワークでも生かせるアートを身に付ける					
到達目標		1級、上級合格基準のアートや技法を取得					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		JNAテクニカルシステム ベーシック ・JNAテクニカルシステム アドバンス					
＜授業計画＞		後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－3	ミックスメディアアート	1級検定内容ミックスメディアアートの完成度を高める				
第2回	4－6	ミックスメディアアート	1級検定内容ミックスメディアアートの完成度を高める				
第3回	7－9	ミックスメディアアート	1級検定内容ミックスメディアアートの完成度を高める				
第4回	10－12	ミックスメディアアート	1級検定内容ミックスメディアアートの完成度を高める				
第5回	13－15	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート				
第6回	16－18	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート				
第7回	19－21	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート				
第8回	22－24	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート				
第9回	25－27	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート				
第10回	28－30	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート				
第11回	31－33	ジェルアート	上級内容ジェルを使用したフラワーアート				
第12回	34－36	ペイントアート	アクリル絵の具を使用したサロンワークアート				
第13回	37－39	ペイントアート	アクリル絵の具を使用したサロンワークアート				
第14回	40－42	3Dアート	アクリルパウダーを使用したサロンワークアート				
第15回	43－45	3Dアート	アクリルパウダーを使用したサロンワークアート				
初回持ち物		1級内容の道具全て					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ネイルサロン運営			クラス名	S2F	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	2 単位	後期	6 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師		大久保 香織					
		実務経験	有	ネイリストとしての実技経験を元に、サロンワークで習得した知識、技術を実例を交えながら実演し指導する。			
目的及び概要		学内サロン運営を目的とした実習授業です。授業内では実際のサロン同様にお客様をお迎えしてからのカウンセリング、技術提供、再来店への誘導などを一連の流れに沿って実践します。実際のサロンを運営する事で社会性と実践力を身につけます。					
到達目標		ネイリストとして少しでも戦力になれるように、接客対応、カウンセリング力と技術を身につける					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		JNAテクニカルベーシック・JNAテクニカルシステムジェルネイル					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－2	ネイルサロンとは		ネイリストの働き方・サロンワークとは			
第2回	3－4						
第3回	5－6	接客について		敬語・接客マナー・電話対応			
第4回	7－8			施術の流れ・メニュー構成・アシスタントとは			
第5回	9－10			カウンセリングについて・カウンセリングシート構成			
第6回	11－12	サロンワークアート		サロンワークデザイン練習			
第7回	13－14						
第8回	15－16						
第9回	17－18						
第10回	19－20						
第11回	21－22						
第12回	23－24						
第13回	25－26	期末試験		期末試験			
第14回	27－28	サンプル作成		5枚組チップ作成			
第15回	29－30						
初回持ち物		JNAテクニカルベーシック・JNAテクニカルジェル・ノート・筆記用具・ジェル道具一式・セロテープ・はさみ					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト			○	実技試験	
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ネイルサロン運営			クラス名	S2F	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	2 単位	後期	6 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師		担当講師					
		実務経験	有	サロンワーク、講師経験ともに豊富な実務経験を持っている講師がその経験を活かし、ネイルの基礎を伝えていく。			
目的及び概要		学内サロン運営を目的とした実習授業です。授業内では実際のサロンと同様にお客様をお迎えしてからのカウンセリング、技術の提供、再来店への誘導などを一連の流れに沿って実践します。実際のサロンを運営することで社会性と実践力を身に付けます。					
到達目標		ネイリストとして少しでも早く戦力になれるように、カウンセリング力と技術を身につける。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		後 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1－6	サロンの仕組み		店の運営、料金設定・仕入れ、店の動線、役職を決めてロールプレイング			
第2回	7－12	フットネイル		フットネイルの基礎・ケア			
第3回	13－18	フットネイル		フット皮膚疾患と角質肥厚			
第4回	19－24	フットネイル		フットカラーリング・マシーン			
第5回	25－30	フットネイル		フットジェルデザイン練習			
第6回	31－36	特別授業アート練習		特別講師によるアート練習			
第7回	37－42	技術練習・本番打ち合わせ		本番の打ち合わせ及び当日までのスケジュール作成			
第8回	43－48	当日に向けての練習・準備		本番に向けての準備			
第9回	49－54	当日に向けての練習・準備		本番に向けての準備			
第10回	55－60	サロン準備		サロン運営準備			
第11回	61－66	サロン運営模擬		模擬サロン運営			
第12回	67－72	サロン準備		サロン運営準備			
第13回	73－78	サロン運営1日目		サロン運営本番 1回目			
第14回	79－84	サロン運営2日目		サロン運営本番 2回目			
第15回	85－90	振り返り		サロン運営振り返り・自分のサロン作り			
初回持ち物		使用教材一式、前期使用ノート					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		カラーデコレート			クラス名	S2F	
1年単位		前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位		前期	2 単位	後期	-	2年合計単位	2 単位
担当講師		岡永めぐみ					
		実務経験	有	パーソナルカラーや色彩心理を使ったカウンセリング、色彩検定等、カラーに関する資格を複数所有する。			
目的及び概要		ネイルを行う上で必要な配色や混色をカラーカードや絵具を使い学習する。色を感覚ではなく理論的に作り上げ、お客様に色の提案をする時に論理的に説明出来るようにする。またパーソナルカラーの知識をもとに、ベースカラーをマスターすることで、お客様にあったカラーやイメージ別、シーン別に合わせた提案をすることが出来る。					
到達目標		・混色の理論が分かる ・パーソナルカラーのベースカラーから似合う配色を理解することが出来る ・季節・イメージ・シーン別に応じたネイルを提案することが出来る					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－2	色彩基本用語の復習	色彩用語の基本的知識の復習				
第2回	3－4	混色1	色相環やトーン図を用いて混色を学ぶ				
第3回	5－6	混色2	自分の思い描く色、また指示された色を絵具を用いて作る				
第4回	7－8	配色1	色相から配色を考える				
第5回	9－10	配色2	トーンから配色を考える				
第6回	11－12	アンダートーンを知る	パーソナルカラーの知識をもとにアンダートーンの違いを理解する				
第7回	13－14	配色3	アンダートーンをもとに配色を考える				
第8回	15－16	配色4	イメージ別に配色を考える1				
第9回	17－18	配色5	イメージ別に配色を考える2				
第10回	19－20	色彩心理1	色彩心理をもとにシーン別配色を考える1				
第11回	21－22	色彩心理2	色彩心理をもとにシーン別配色を考える2				
第12回	23－24	配色6	季節(イベント)をもとに配色する				
第13回	25－26	試験	試験				
第14回	27－28	試験返却	試験の返却と解説				
第15回	29－30	課題別配色	課題をもとに配色を考える				
初回持ち物		のり、はさみ、カラーカード199、筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		パーソナルカラー検定対策			クラス名	S2F	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位		前期	2 単位	後期	-	2年合計単位	2 単位
担当講師		色彩活用研究所(株) 黒川					
		実務経験	有	各種専門学校において、色彩検定、パーソナルカラー検定を10年以上指導。企業様や団体様に向けて、セミナーやイベントなども多数開催している。			
目的及び概要		色彩活用パーソナルカラー検定3級取得する。 パーソナルカラーの技術を身につけ、美容業界で生かせるようになる。					
到達目標		パーソナルカラーについて総合的に学習します。パーソナルカラーとは何か、4つのタイプの色分けといった基本的な部分から似合う色の取り入れ方まで、色の基本やカラーワークなどの演習をしながら身につけ表現力を養います。検定合格に向けて、問題集や小テストを適宜実施し理解を深めていきます。					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト3級、公式問題集、パーソナルカラー検定過去問題1冊					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細				
第1回	1－3	オリエンテーション 色彩の基本①	パーソナルカラーを学ぶ意義 パーソナルカラーとは何か。色の三属性と色相環。カラーワーク演習				
第2回	4－6	色彩の基本②/色と光	トーン(しくみ、イメージ)/色と光				
第3回	7－9	パーソナルカラーの色分類	パーソナルカラーの色分類、各タイプの色の特徴について				
第4回	10－12	似合う色と似合わない色／色素①	似合う色と似合わない色の見え方／似合う色の基になる色素①				
第5回	13－15	色素②	似合う色も基になる色素②／自分の色素を知る				
第6回	16－18	ドレーピング実習	ドレーピング実習				
第7回	19－21	対比・同化／似合う色	対比・同化／似合う色の取入れ方とポイント				
第8回	22－24	総まとめ	期末テスト、検定に向けて総まとめ				
第9回	25－27	期末テスト／テスト対策	期末テスト／テスト対策				
第10回	28－30	期末テスト返却・検定対策	テスト返却・振り返り・検定対策				
第11回							
第12回							
第13回							
第14回							
第15回							
初回持ち物		* はさみ&のり、筆記用具 * 教材一式全4点(①パーソナルカラー検定公式テキスト3級、②公式問題集、③新配色カード199、④新配色カード199用演習用台紙(ピンクの袋ごと))、 : * 全て使用します					
成績評価方法		・出席率		定期試験	○	筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名		ビューティプログラム			クラス名	S2F	
1年単位		前期	1 単位	後期	2 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位		前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師		担当					
		実務経験	-	業界企業			
目的及び概要		最高のおもてなしの心とハイレベルな技術と知識を習得する。					
到達目標		企業連携授業により、技術指導を受講しサロン運営に繋げる					
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式					
教科書		なし					
＜授業計画＞		前 期					
回数	コマ数	テーマ		授業内容詳細			
第1回	1	企業連携事前学習		事前学習			
第2回	2						
第3回	3						
第4回	4	企業連携授業①		企業連携実習①			
第5回	5						
第6回	6						
第7回	7						
第8回	8						
第9回	9						
第10回	10	企業連携授業②		企業連携実習②			
第11回	11						
第12回	12						
第13回	13						
第14回	14						
第15回	15						
初回持ち物		筆記用具					
成績評価方法		・出席率		定期試験		筆記試験	
		・定期試験や小テスト				実技試験	
		・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				